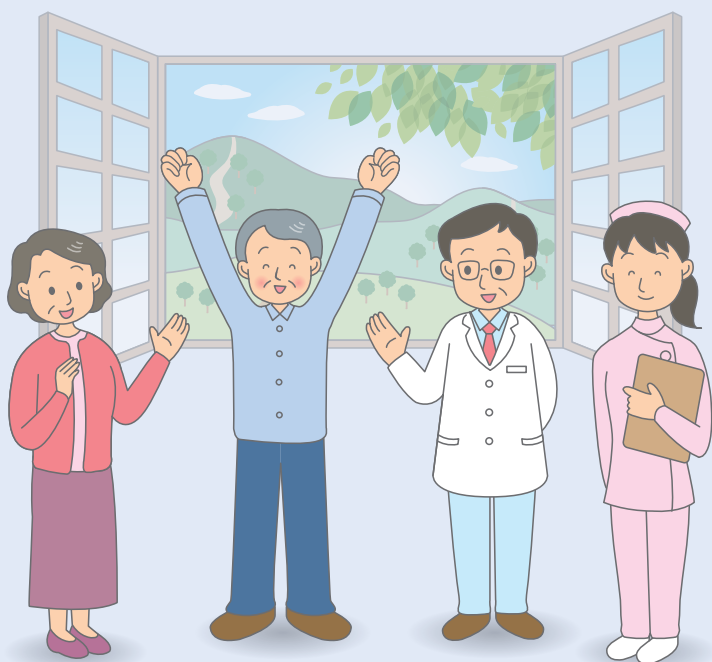


ペメトレキシドによる 併用療法を受けられる方へ

- ☐ 非小細胞肺癌
- ☐ 悪性胸膜中皮腫



〔監修〕 地方独立行政法人 栃木県立がんセンター
呼吸器内科 科長 笠井 尚 先生

目次

■ はじめに	1
■ 肺がんとは	2
■ 肺がんの種類	3
■ 悪性胸膜中皮腫とは	4
■ 悪性胸膜中皮腫の症状	4
■ 検査の流れ	6
■ がんの治療	7
■ ペメトレキセドのはたらき	8
■ 白金(プラチナ)製剤のはたらき	9
■ ペメトレキセドと白金(プラチナ)製剤の併用療法	10
■ 支持療法	11
■ ペメトレキセド+シスプラチン療法	12
・治療前の確認事項	13
■ ペメトレキセド+カルボプラチン療法	14
・治療前の確認事項	15
■ 治療スケジュール	16
■ 点滴治療を受けているときの注意	18
■ 主な副作用とその対処方法	19
・副作用の発現しやすい時期	19
・骨髄抑制	20
・間質性肺炎	22
・アレルギー反応	23
・消化器症状	24
・腎機能障害	27
・皮膚障害	28
・末梢神経障害	29
・倦怠感・疲労感、脱毛、耳鳴り・難聴	30
■ 治療を始めるにあたって	31
■ 治療日誌とメモの記載	31

はじめに

肺がんの薬物療法は日々進歩しています。ペメトレキセドは、肺がんや悪性胸膜中皮腫の薬物療法に適応があります。肺がんでは、小細胞肺がん以外の非小細胞肺がんの、その中でも扁平上皮がん以外に効果が認められている重要な抗がん剤です。本冊子では、ペメトレキセドの投与の方法、効果、副作用などについて詳しく述べています。

今後の患者さんみなさんの治療にあたり、本冊子がお役に立つことを期待しています。



肺がんとは

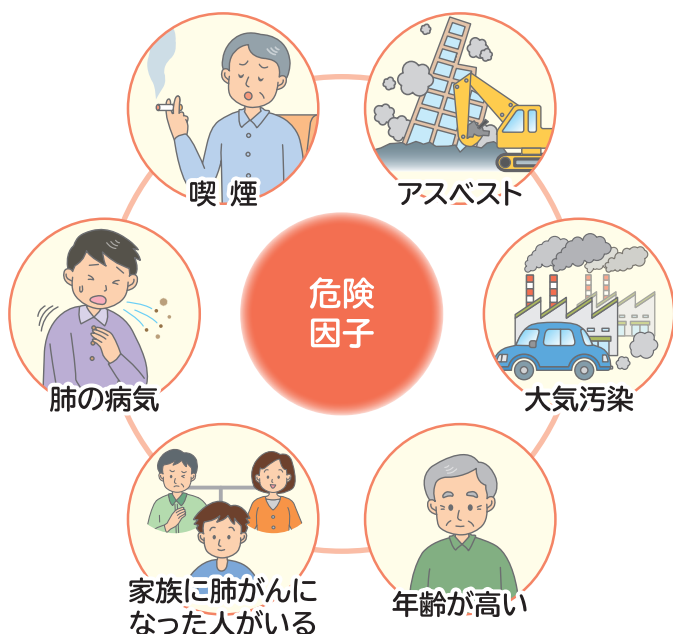
肺がんとは、肺の「気管支」や「肺胞」の細胞ががん化したものです。

気管支や肺胞が肺がんの危険因子に繰り返しさらされることにより、細胞に遺伝子変異が起こり、この遺伝子変異が積み重なるとがんになると考えられています。

喫煙は肺がんの危険因子のひとつです。その他に、アスベストや大気汚染物質などの吸入、肺の病気などが挙げられます。

がん細胞が増殖し、進行すると、血液やリンパ液の流れによって転移することもあります。

肺がんはその種類によって特徴が大きく異なるため、治療方針を決める際に肺がんの種類を特定することは非常に重要となります。



肺がんの種類

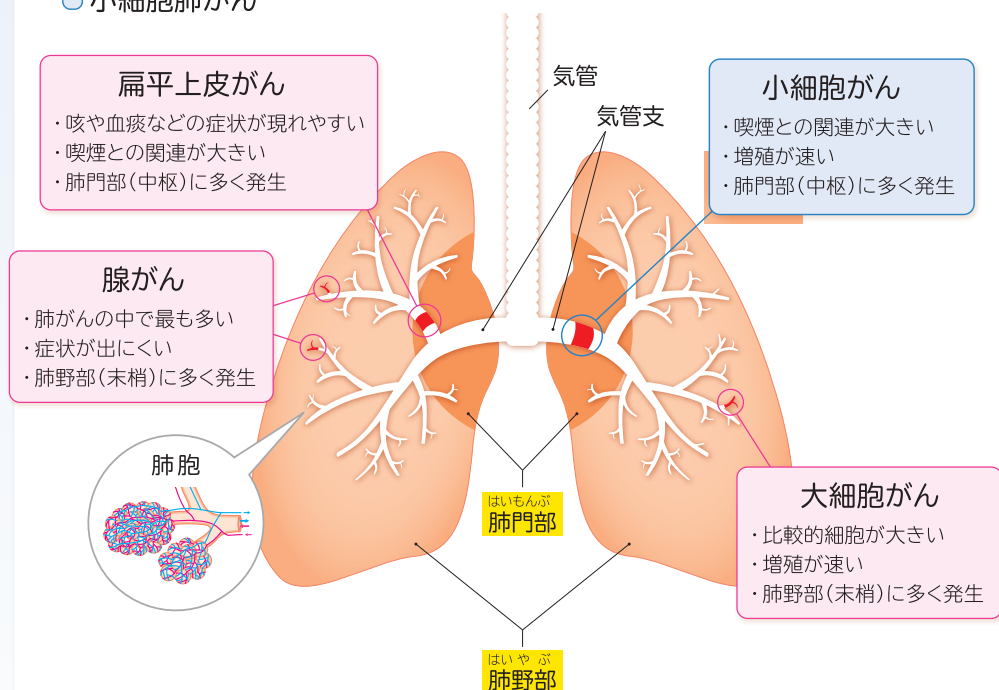
肺がんは、「非小細胞肺がん」と「小細胞肺がん」の、大きく2つの組織型に分けられます。発生頻度が高いのは「非小細胞肺がん」です。

「非小細胞肺がん」は、さらに「腺がん」「扁平上皮がん」「大細胞がん」などに分類されます。中でももっとも多いのが「腺がん」です。

「非小細胞肺がん」と「小細胞肺がん」では治療方針が大きく異なるため、検査によって組織型を確認してから治療を開始します。

○ 非小細胞肺がん

○ 小細胞肺がん



悪性胸膜中皮腫とは

肺は、胸膜と呼ばれる薄い膜に包まれています。この胸膜の表面にある中皮細胞ががん化したものが「悪性胸膜中皮腫」です。

アスベスト(石綿)は悪性胸膜中皮腫の危険因子のひとつです。アスベストを吸い込むと、肺胞に長期に留まって刺激し、がんを発生させると考えられています。

アスベストを吸ってから悪性胸膜中皮腫が発症するまでの期間は20～50年とされています。日本におけるアスベストの使用が全面禁止されたのは最近のことで、患者は年々増えつづけています。



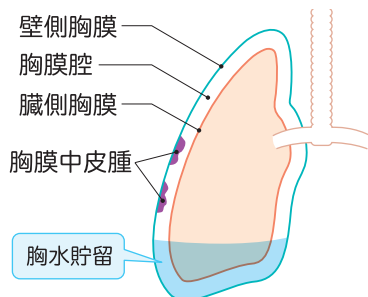
以前に、アスベストを扱う職業をしていた方やそのご家族、アスベストを扱う場所の近くで生活していた方も、発症する危険が高いことが知られています。石綿関連疾患は、労災保険または石綿健康被害救済制度による公的助成の対象となっています。

悪性胸膜中皮腫の症状

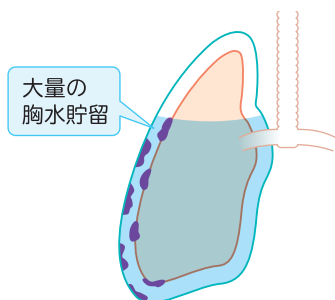
悪性胸膜中皮腫の初期は無症状で、健康診断などで偶然発見されることがあります。

主な症状は胸の痛みや咳です。胸膜の炎症などによって、胸膜腔に大量の胸水がたまると、胸部の圧迫感や呼吸困難の症状があらわれます。

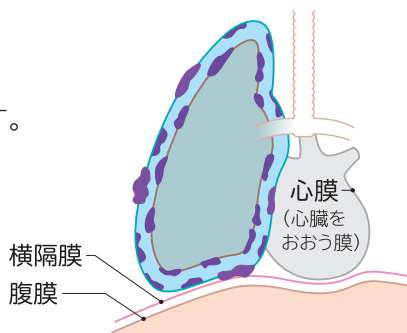
悪性胸膜中皮腫の初期は、
がん細胞が壁側胸膜の一部に
留まっています。



次第に臓側胸膜にも
種をまいたように散らばります。
一カ所にかたまって
大きくなることもあります。



進行すると胸膜の全体に広がります。
さらに進行すると心膜、腹膜など
肺の周りにもがんが広がります。



肺を包む壁側胸膜と臓側胸膜の間(胸膜腔)には常時、少量の胸水があり、呼吸をする際に2枚の膜の潤滑を助ける役割をしています。悪性胸膜中皮腫では大量の胸水がたまることがあります。一方で、患者さんの状態によっては、胸水の貯留がほとんどみられないこともあります。

検査の流れ

がんが疑われるときは、喀痰細胞診や、胸部X線検査などを組み合わせて、病変の有無や場所を調べます。

検査で異常が見つかった場合は、がんが疑われる部位から細胞や組織を採取して病理診断を行います。がんかどうか、肺がんでは組織型などによって治療方法が異なるので、どのような種類のがんか、診断を確定します。

治療方法を決める際に、がんの病期(がんがどのくらい進行しているか)を知る必要があるため、画像検査を行います。

問診 健診結果や症状の確認



胸部X線検査、胸部CT検査などの画像診断



気管支鏡や胸腔鏡検査などで細胞や
組織を採取して病理診断



病期診断へ

がんの治療

がん治療において、局所的治療は、がんのできている部位とその周辺に対して行われる治療のことです。内視鏡治療、手術療法、放射線療法などがあります。

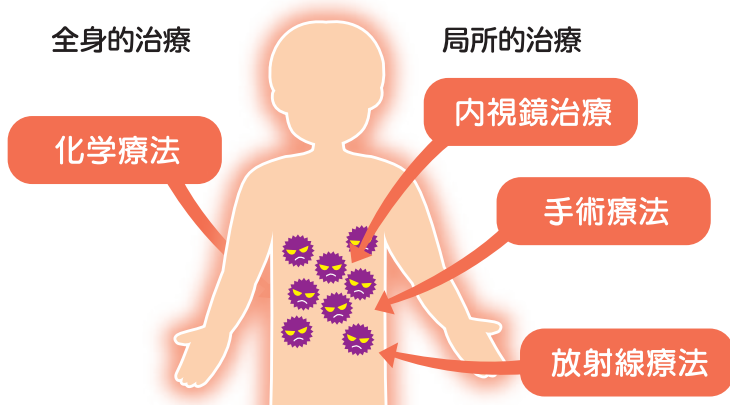
これに対して化学療法は、抗がん剤を使った全身的治疗です。化学療法では、抗がん剤が血流にのって全身に運ばれるので、広い範囲のがんの増殖を抑えるはたらきがあります。がんに化学療法を行う目的には、次の二つがあります。

① 手術後の再発を抑える

手術によって目に見える全てのがんを切除できたとしても、目にみえないほどの小さながんが残り、そこから再発する可能性があります。この再発を抑えることが目的です。

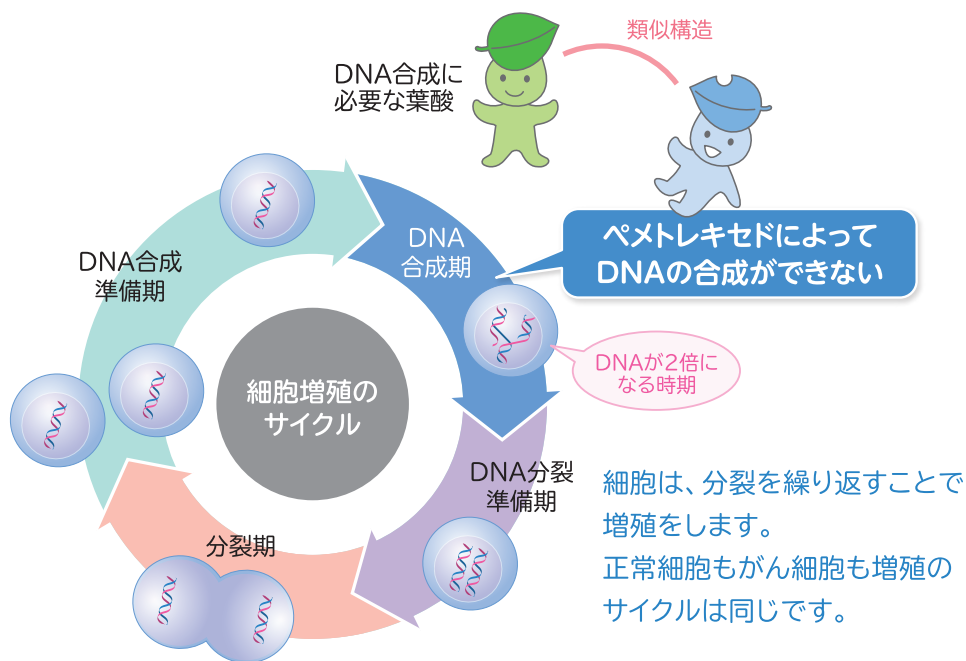
② 手術で取りきれないがんの進行を抑える

手術で全てのがんを取りきることが難しい場合は、化学療法が行われます。がんを小さくしたり、がんが大きくなるスピードを抑えたりすることで、患者さんの生活の質を維持することが目的です。



ペメトレキセドのはたらき

このお薬は、**代謝拮抗薬**という種類のお薬です。DNA合成には**葉酸**が必要ですが、ペメトレキセドは葉酸と類似した構造をもっているので、がん細胞が間違えて取り込みます。その結果、がん細胞のDNA合成を妨げ、増殖を抑えます。



※イラストはイメージです。

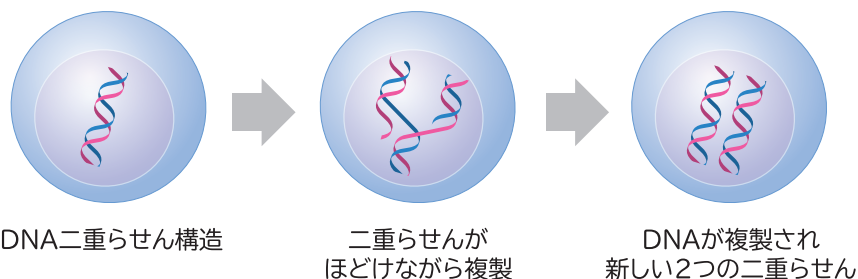
投与方法

ペメトレキセドと白金(プラチナ)製剤は、患者さんの身長・体重に基づいて、患者さんの年齢や体調、および、それまでの副作用の程度などを考慮して投与量が決められます。

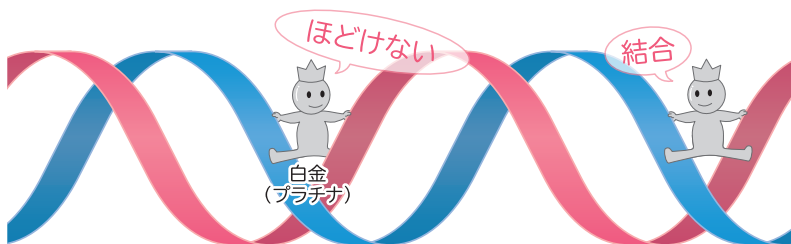
白金(プラチナ)製剤のはたらき

白金(プラチナ)製剤と呼ばれる抗がん剤には、シスプラチン、カルボプラチンなどがあります。このお薬は、がん細胞のDNAに結合してその複製を妨げることでがん細胞の増殖を抑えます。

細胞増殖の過程



白金製剤によってDNAの複製ができない



※イラストはイメージです。

お薬の投与量

身長・体重

がんの種類

患者さんの年齢・全身状態

ペメトレキセドと白金(プラチナ)製剤 の併用療法

ペメトレキセドと白金(プラチナ)製剤との併用療法で使われるお薬は、患者さんの状態や年齢、希望なども考慮しながら主治医と共に決めていきます。化学療法は、局所的治療と組み合わせて使用されることもあります。

☐

ペメトレキセド

+

シスプラチン

☐

ペメトレキセド

+

カルボプラチン

がんの薬物治療

がんの診断後に初めて行う薬物治療を一次治療と呼びます。副作用や病状などの理由で、前の治療で使われたものとは異なるお薬の組み合わせを選択して、二次療法、三次療法と、治療を続けます。

支持療法

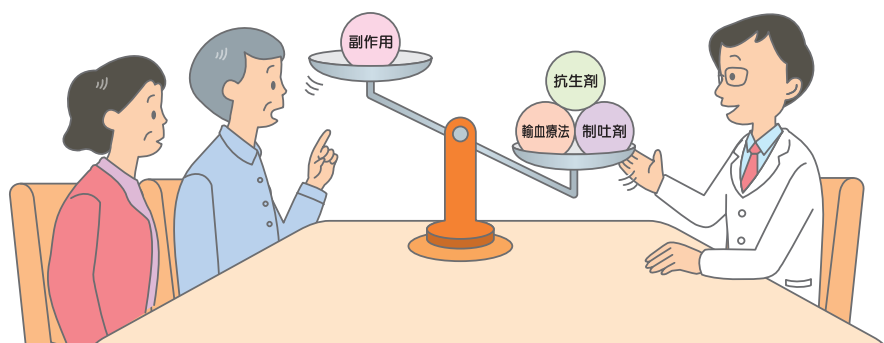
抗がん剤はがん細胞のみならず正常な細胞にもはたらいてしまうため、治療期間中は副作用があらわれる可能性があります。

最近では、副作用を予防したり、その症状を軽くする治療「支持療法」の進歩により、より安全で効果的な化学療法が行われるようになってきています。

感染症に対する抗生剤の投与、抗がん剤の副作用である貧血や血小板減少に対する輸血療法、吐き気・おう吐に対する制吐剤(吐き気止め)の使用などがあります。

ペメトレキセドによる治療では、副作用を軽減するために、あらかじめ葉酸とビタミンB₁₂を投与します。

副作用などを最小限にしながら、効果的にがん治療を続けることが大切です。

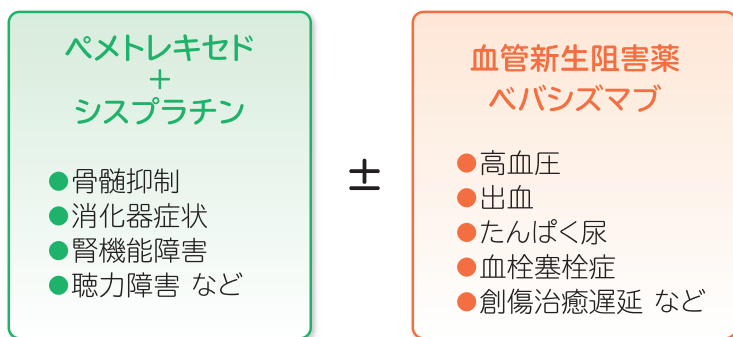


ペメトレキセド+シスプラチン療法

ペメトレキセドとシスプラチンの併用療法は、非小細胞肺癌の中でも非扁平上皮がん、および、悪性胸膜中皮腫の標準的化学療法のひとつです。

患者さんの状態によって、血管新生阻害薬と呼ばれるお薬が併用される場合があります。がん細胞の増殖に必要な新しい血管が作られるのを抑えるお薬です。

使用するお薬の組み合わせによって、特徴的な副作用がみられることがあります。



※現時点で悪性胸膜中皮腫にベバシズマブの保険適応はありません。

- 骨髄抑制(白血球や好中球などが少なくなって抵抗力が弱くなる)
 - 消化器症状(吐き気、おう吐、下痢 など)
 - 腎機能障害(尿量が減る、むくむ など)
 - 聴力障害(耳鳴り、難聴 など)
- などの副作用がみられることがあります。

副作用は、治療内容や患者さんによって症状のあらわれ方や程度が異なりますので、詳しくは、「主な副作用とその対処方法」のページをご参照ください。

治療前の確認事項

次のいずれかの項目に当てはまる方は治療を受ける前に、必ず主治医にお伝えください。

- ☐ 腎臓が悪い。
- ☐ 胸水や腹水がある。
- ☐ 以前に使用したお薬で発疹やかゆみなどのアレルギー症状が出た事がある。
- ☐ 抵抗力が弱い(白血球などが少ない)。
- ☐ 妊娠している、または妊娠している可能性がある。
- ☐ 授乳している。
- ☐ 肺が悪い、または過去に肺の病気にかかったことがある。
- ☐ 現在お使いになっているお薬がある。
- ☐ 肝臓が悪い。
- ☐ 耳が聞こえにくい、耳鳴りがする。
- ☐ 感染症、水疱(みずぼうそう)にかかっている。
- ☐ シスプラチンの治療を長期に受けていたことがある。
- ☐ 放射線治療を受けている。

ベバシズマブを併用する場合の確認事項(上記以外)

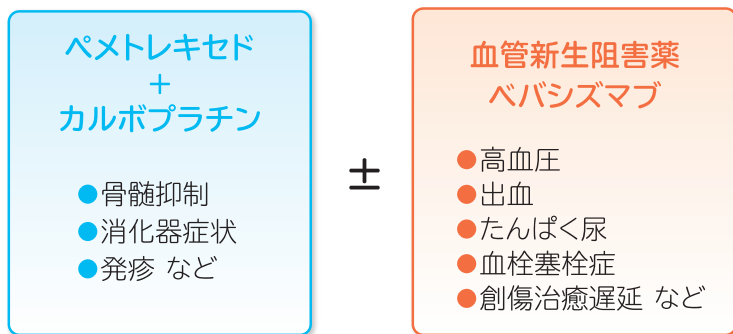
- ☐ 消化管に病気がある。
- ☐ ケガが治癒していない。
- ☐ 手術の予定がある、または手術をして1カ月経っていない。
- ☐ 脳腫瘍がある。
- ☐ 血痰が出る。
- ☐ 出血しやすい。
- ☐ 心臓や肺の病気になったことがある。
- ☐ 糖尿病である。
- ☐ 高血圧症である。
- ☐ 心臓が悪い。

ペトレキセド+カルボプラチン療法

ペトレキセドとカルボプラチンの併用療法は、患者さんの状態や年齢、希望なども含めて検討し、主治医と共に決めていきます。はじめて投与を行う場合は、効果や副作用を確認するために入院して行うことがあります、通院で治療することも可能です。

患者さんの状態によって、血管新生阻害薬と呼ばれるお薬が併用される場合があります。がん細胞の増殖に必要な新しい血管が作られるのを抑えるお薬です。

使用するお薬の組み合わせによって、特徴的な副作用がみられることがあります。



※現時点で悪性胸膜中皮腫にカルボプラチンおよびベバシズマブの保険適応はありません。

- 骨髄抑制(白血球や好中球などが少なくなって抵抗力が弱くなる)
 - 消化器症状(吐き気、おう吐、下痢 など)
 - 発疹(皮膚がプツプツ少し盛り上がる など)
- などの副作用がみられることがあります。

副作用は、治療内容や患者さんによって症状のあらわれ方や程度が異なりますので、詳しくは、「主な副作用とその対処方法」のページをご参照ください。

治療前の確認事項

次のいずれかの項目に当てはまる方は治療を受ける前に、必ず主治医にお伝えください。

- ☐ 腎臓が悪い。
- ☐ 胸水や腹水がある。
- ☐ 以前に使用したお薬で発疹やかゆみなどのアレルギー症状が出た事がある。
- ☐ 抵抗力が弱い(白血球などが少ない)。
- ☐ 妊娠している、または妊娠している可能性がある。
- ☐ 授乳している。
- ☐ 肺が悪い、または過去に肺の病気にかかったことがある。
- ☐ 現在お使いになっているお薬がある。
- ☐ 肝臓が悪い。
- ☐ 感染症、水疱(みずぼうそう)にかかっている。
- ☐ カルボプラチンの治療を長期に受けていたことがある。
- ☐ 放射線治療を受けている。

ベバシズマブを併用する場合の確認事項(上記以外)

- ☐ 消化管に病気がある。
- ☐ ケガが治癒していない。
- ☐ 手術の予定がある、または手術をして1カ月経っていない。
- ☐ 脳腫瘍がある。
- ☐ 血痰が出る。
- ☐ 出血しやすい。
- ☐ 心臓や肺の病気になったことがある。
- ☐ 糖尿病である。
- ☐ 高血圧症である。
- ☐ 心臓が悪い。

治療スケジュール

ペムトレキシド+白金(プラチナ)製剤の併用療法は、投薬日と休薬20日間を合わせた21日間を1サイクルとします。

ペムトレキシドによる副作用を軽減するため、治療を始める7日以上前から、経口薬の葉酸を1日1回毎日服用します。注射薬のビタミンB₁₂も少なくとも7日前に筋肉注射をします。

ペムトレキシド投与日は、まず輸液(生理食塩液、電解質など)と吐き気止めのお薬を点滴します。次に、ペムトレキシドを点滴します。ペムトレキシドの点滴終了後、白金(プラチナ)製剤を点滴します。

	7日以上前				
	治療前	1サイクル (21日間)	2サイクル	3サイクル	
葉酸	ペムトレキシド初回投与日の7日以上				
ビタミンB ₁₂					
吐き気止め					
ペムトレキシド					
シスプラチン または カルボプラチン					
±ババシズマブ 患者さんの状態に応じて 併用される場合があります。					

ここに示した投与スケジュールは参考例です。他のお薬が投与される場合や、

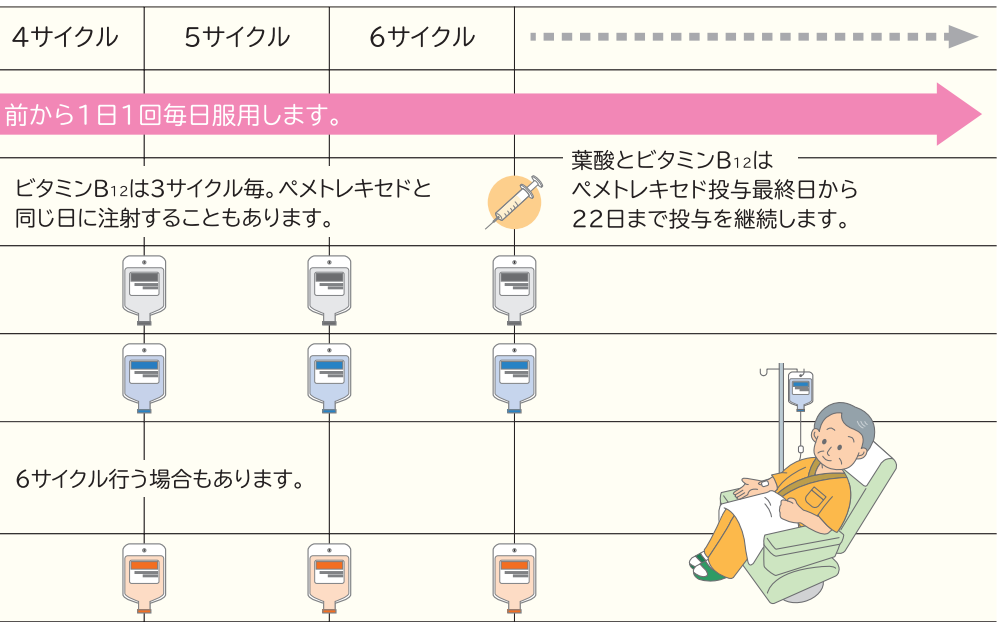
シスプラチン投与の患者さんは、腎臓への負担を軽くするために尿量を増やす目的で利尿剤を使用する場合もあります。

患者さんの状態によって、ベバシズマブを点滴する場合があります。

ペメトレキセド投与日から少なくとも20日間休薬します。その間も葉酸は毎日服用を継続します。ビタミンB₁₂も9週間(3サイクル)毎の筋肉注射を継続します。

4サイクル終了後、ペメトレキセドおよびベバシズマブの治療を継続することがあります。

ペメトレキセド投与を中止する場合でも、最終投与日から22日目まで葉酸とビタミンB₁₂の投与は継続します。



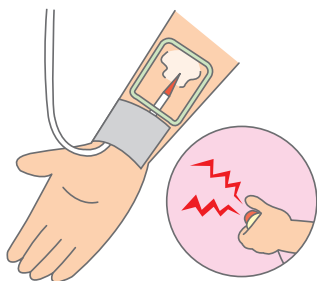
患者さんの状態によって、スケジュールが変更になる場合があります。

点滴治療を受けているときの注意

点滴薬が血管の外に漏れると、腫れたり、赤くなったり、痛くなってきたりすることがあります。点滴中はできるだけ安静にしてください。



万一、血液が逆流するなどの変化がある場合には、ただちに医師や看護師にお伝えください。速やかに適切な処置を行います。



点滴の注射針を刺したところが、硬くなったり、痛くなったり、腫れてきたり、熱い感じがしたり、かゆみなどの違和感があらわれた場合には、ただちに医師や看護師にお伝えください。



点滴の途中で吐き気を感じたり、気分が悪くなった場合には、早めに医師や看護師に申し出てください。



主な副作用とその対処方法

化学療法の施行中には何らかの副作用があらわれることがあります。そのため、いつ、どのような副作用が起こるかを予測して、その対策をたてておくことは副作用の予防や症状を和らげるのに役立ちます。また、患者さんによってその症状や程度は様々ですが、治療を延期したり、お薬の量を減らしたり、中止しなければならない場合もあります。

副作用の発現しやすい時期



- アレルギー反応
- 吐き気・おう吐・食欲不振
- 便秘・下痢
- 全身倦怠感
- 心機能障害
- 皮膚障害
(発疹、色素沈着)



- 疲労感
- 口内炎
- 下痢
- 骨髓抑制(感染症、出血、貧血)
- 耳鳴り・難聴
- 腎機能障害
- 肝機能障害



- 脱毛
- 末梢神経障害
(四肢末梢のしびれ感、
感覚低下など)
- 間質性肺炎



骨髄抑制

抗がん剤によって骨髄のはたらきが低下することがあります。血液は、骨の中にある骨髄でつくられています。この骨髄が抗がん剤の影響を受けると、血液細胞をつくる機能が低下し白血球・赤血球・血小板が減少し、貧血などが起こります。

1～2週間後に症状が出やすいですが、同じ医薬品であっても短期間にあらわれる場合と、数ヵ月後にあらわれる場合があり、患者さんによってまちまちです。

骨髄抑制の副作用は、自分で気が付きにくいので、定期的に血液検査を行います。

白血球減少

白血球の数が少なくなると、病原菌(細菌)に対する体の抵抗力が弱くなり、いろいろな部位(口、肺、尿路、腸、肛門、性器など)で感染症を起こす可能性があります。

このような症状のときは、医療スタッフに連絡を

- 37.5℃以上の発熱がある。
- 寒気や悪寒がする。
- 咳が出たり、喉に痛みを感じる。
- 体がだるく、ふしぶしが痛む。
- 尿のにごり、排尿の痛み、残尿感がある。



日常生活の注意点

- 手洗い(食事の前、トイレの前と後、外出から帰ってきたとき)をしっかり行い感染予防に努めましょう。
- シャワー、入浴などで体を清潔に保ちましょう。



赤血球減少

赤血球の数が少なくなると、貧血症状を感じる場合があります。

このような症状のときは、医療スタッフに連絡を

- 少し動いただけで動悸、息切れがする。
- めまい、立ちくらみがする。
- 手足が冷える。



日常生活の注意点

- 無理せず、こまめに休むようにしましょう。
- 手足が冷たい場合は保温するよう心がけましょう。

血小板減少

出血を止める作用がある血小板が少なくなると、出血しやすく、また出血が止まりにくくなります。

このような症状のときは、医療スタッフに連絡を

- 軽い打ち身などで出血したり、あざ(内出血)ができる。



日常生活の注意点

- けがをしないように注意しましょう。
- やわらかい歯ブラシを使用して、歯ぐきを傷つけないように歯磨きをしましょう。

間質性肺炎

抗がん剤によって肺に炎症が起こり、呼吸が苦しくなったり、咳が出る場合があります。

症状は一時的で治る場合もありますが、進行してしまう場合もあるので注意が必要です。

このような症状のときは、医療スタッフに連絡を

- 階段を上がったり、少しの運動で息切れする。
- 呼吸がしにくい、胸が苦しい。
- 咳が出る。
- 発熱する。



日常生活の注意点

- 風邪と区別しにくいいため、風邪のような症状がでたら、ご自身で判断せず医療スタッフに相談しましょう。



アレルギー反応

抗がん剤によって、じんま疹、腹痛やおう吐、息苦しさなどの症状があらわれることがあります。症状が重い場合には、血圧の低下や意識の混濁などのショック症状を起こすこともあります。

これらの症状はアレルギー反応として、薬剤の投与中、投与後数時間あるいは数日してからあらわれることがあります。

また、初めて薬剤の投与を受けたときにおこる場合と治療を何サイクルか繰り返した後に起こる場合もあります。

このような症状のときは、医療スタッフに連絡を

- 皮膚が赤い、じんま疹が出ている。
- 腹痛がある、吐き気がする。
- 声がかすれる、くしゃみが出る、のどがかゆい、息苦しい。
- 顔色が青白い、意識がはっきりしない。



日常生活の注意点

- 点滴の最中あるいは直後に症状を感じたら、すぐに医療スタッフに知らせましょう。
- 症状が出ても慌てず、深呼吸をして気持ちを落ち着かせましょう。
- 症状が落ち着いた後も安静が必要な場合や、アレルギーを抑えるお薬を服用する場合があります。主治医の指示を守りましょう。

消化器症状

吐き気、おう吐、下痢、口内炎などの消化器症状がおこる場合があります。おう吐や下痢は治療開始から数日後にあらわれる場合もあり、脱水症状に至ることもあります。

口内炎は抗がん剤が口の中の粘膜に作用したり、細菌感染したりすることで起こります。数日から10日目ごろに発生しやすく、口の中の痛み、熱いものや冷たいものがしみる、口が動かしにくい、味が変わる、などの症状があります。

吐き気、おう吐

吐き気やおう吐は個人差が大きい副作用です。症状を和らげるお薬がありますので、我慢しないで医療スタッフに相談してください。

このような症状のときは、医療スタッフに連絡を

- 食事や水をとる事が出来ない。
- 1日3回以上吐いてしまう。



日常生活の注意点

- 不快なおいのするものを近づけないようにしましょう。
- 食事はゆっくりと時間をかけ、むりせずに食べられるものを少量ずつ可能な範囲で食べると良いでしょう。
- 十分な水分補給を心がけてください。

下痢

下痢が長く続くと、脱水症状やミネラル不足になることがあります、日常生活に支障をきたすことがあります。下痢の症状は強くあらわれることもありますので、注意が必要です。下痢の回数や状態に応じて、下痢止めを使用する場合があります。

このような症状のときは、医療スタッフに連絡を

- 1日の排便回数が3回以上増えた。
- さしこむような腹痛がある。
- 便が泥状か完全に水のようにになっている。

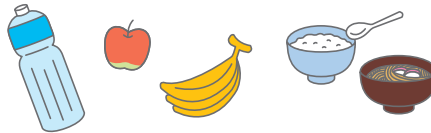


日常生活の注意点

- 脱水症状にならないよう、こまめに水分補給をしましょう。

下痢の時におすすめの食品

- スポーツドリンク
- りんご、バナナ
- おかゆ、麺類



下痢の時に避けたい食品

- アルコール
- 高繊維、高脂質の食べ物
- 乳製品・香辛料
- コーヒー
- オレンジジュース、グレープフルーツジュース



口内炎

抗がん剤による口内粘膜の障害や、口内の細菌感染により口内炎があらわれることがあります。

このような症状のときは、医療スタッフに連絡を

- 口の中が痛い、ひりひりする。
- 痛みにより、食事や会話がしにくい。
- 熱いもの、冷たいものがしみる。



日常生活の注意点

- やわらかい歯ブラシを使ってこまめに歯磨きをしましょう。
- タバコは口内炎を悪化させるので禁煙しましょう。
- うがいをして口の中をきれいに保ちましょう。
(起床時や食事前など1日7~8回が目安です)
- 主治医と相談して、歯科医で口腔ケアを受けることも可能です。



腎機能障害

抗がん剤によって腎臓のはたらきが悪くなり、老廃物や余分な水分が、血液の中にたまってしまうことがあります。

体内の水分が足りない状態では、副作用が出やすいので、十分に水分を取りましょう。

このような症状のときは、医療スタッフに連絡を

- 尿の量が極端に少ない。
- 手や足がむくむ。



日常生活の注意点

- スポーツ飲料などの水分を多めに取りようにしましょう。
- アルコールは脱水状態になりやすいので避けるようにしましょう。



皮膚障害

抗がん剤により細胞分裂が活発な皮膚の細胞が傷つけられることで起こる副作用です。皮脂腺や汗腺ひしせん かんせんの分泌が抑えられることから、皮膚のバリア機能が低下して皮膚炎が生じたり、また、汗などに微量の抗がん剤が排出される影響であるとも考えられています。

発疹

皮膚に赤いプツプツができたり、赤い斑点が全身に出現します。ほてりやかゆみがあります。ひどくなると、皮膚がむけるびらんが起こる場合もあります。



色素沈着

抗がん剤によりメラニン細胞が刺激を受け、メラニン色素の生産が亢進することから、手足や爪が黒ずんだり、顔にシミが出たりします。



このような症状のときは、医療スタッフに連絡を

- 皮膚が赤く盛り上がったり、皮膚がむけてジュクジュクしている。
- 皮膚や爪が黒く変色する。

日常生活の注意点

- 熱いお風呂やシャワーは控えましょう。
- 身体を清潔に保ち、保湿剤を使って、皮膚を保護しましょう。
- 外出時には帽子、日傘、手袋などを使って直射日光に当たらないようにしましょう。
- 衣類は、締め付けない、ゆったりしたものを着用しましょう。



末梢神経障害

抗がん剤によって末梢神経が傷つけられると、手足や口のまわりのしびれなどの感覚異常があらわれることがあります。この症状は、抗がん剤の投与直後、または少し時間がたってから起こります。2～3日でおさまることが多いですが、治療を繰り返していくことで症状が持続するようになることもあります。また、冷たいものに触ると症状が出やすくなり、悪化することもあります。

多くの場合、化学療法終了後、時間とともに消失あるいは軽減します。

このような症状のときは、医療スタッフに連絡を

- 手足の先端がジンジンする。
- 手足のしびれや痛みのために文字を書きにくい、ボタンをかけにくい、歩きにくい。



日常生活の注意点

- 抗がん剤の点滴直後は、冷たい飲み物・食べ物をとらないようにしましょう。
- 冷気にあたらないようにしましょう。
- 冷たいものに直接触れないように手袋を着用しましょう。
- 手や顔を洗うときはぬるま湯を使いましょう。
- 気温が低いときには、手袋・マフラーなどを着用し、マスクをしましょう。
- 素足で歩かないで靴下やスリッパをはきましょう。



倦怠感・疲労感

がんやがんの治療の副作用、がんに伴う症状（痛み、貧血、不安、不眠）などによって起こることがあります。抗がん剤治療2～3日頃から全身のだるさや疲れやすさを感じることがあります。



脱毛

発毛に関する毛母細胞^{もうぼ}は、細胞分裂が活発なため、がんの治療の影響を受けて、髪の毛や、からだの毛が抜けることがあります。個人差はありますが、治療終了後3～6ヵ月程度で再び生えてきます。



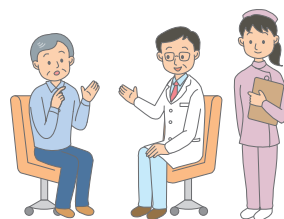
耳鳴り・難聴

「聞こえづらい」、「ピーやキーンという耳鳴りがする」、「耳がつまった感じがする」、「ふらつく」など、投与開始直後から生じ、繰り返し投与により進行することがありますので、気になる症状がありましたら医療スタッフに相談してください。



治療を始めるにあたって

- 治療に際しては、規則正しい食事や、十分な睡眠をとり、体調を良い状態に保つように心がけましょう。
- 現在、お使いになっているお薬がある場合には、主治医にお伝えください。
- 他の医療機関を受診される際は、抗がん剤による治療を受けていることをお伝えください。



治療日誌とメモの記載

がん治療中は患者さんや、その家族の方にとっては、さまざまな不安や心配が湧き上がる場合もあります。

- 気持ちが落ち着かずにつらい
- 夜眠れなくて困る
- 仕事が手につかない
- 家族に心配をかけたくないのに明るく振舞うことができない
- こんなにつらくては、抗がん剤治療をつづけることができないのではないかと心配



こうしたことを乗り越えるために

- 気になること
- 聞きたいこと
- 疑問に思うこと
- 伝えたいこと など



主治医や医療スタッフと相談しながら、日常生活でのアドバイスをうまく取り入れ、よりよい治療を続けることが大切です。

からだに違和感があるときは、日付と症状をメモして主治医や医療スタッフに相談しましょう。

記入のしかた

がんの治療は、ひとりひとりの患者さんの状態に合わせて行われます。そのため、患者さんの毎日の体調や気になることなどを記録し、主治医や医療スタッフと相談しながら治療を進めていくことが大切です。

【記入例】

投薬された薬に○をつけます。

症状がある場合に○をつけます。

治療開始 からの日数		1週目				
		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
月/日 (曜日)		6/7 (月)	6/8 (火)	6/9 (水)	6/10 (木)	6/11 (金)
投 与 薬	葉酸	○	○	○	○	○
	ビタミンB ₁₂					
	ペメトレキセド	○				
	吐き気止め	○	○	○	○	
	シスプラチン	○				
	利尿剤	○				
体温(℃)		36.7℃	37.2℃	37.1℃	37.2℃	37.1℃
体重(kg)		59 kg	59 kg	59 kg	58 kg	58 kg
血圧 最高/最低		122/ 73	124/ 76	123/ 74	122/ 71	123/ 71
食事の量		◎	△	○	◎	○
排尿		5回	6回	5回	3回	
排便		2回	1回	3回	2回	
下痢						
便秘						
吐き気			○	○	○	
おう吐		回	回	回	回	
疲労感					○	
咳が出る						
鼻血・歯ぐきなどからの出血						
発疹		○				

記載以外の薬の投与
がある場合は記入
しましょう

メモ

医師に伝えたいこと
聞きたいこと
気になること

6/8 だるい、あまり寝られない。
6/18 歯みがき、歯ぐき出血。

医師等に伝えたいことや
気になることを
書きとめておきましょう。

ペメトレキセド投与前

ペメトレキセドは、初回投与の7日以上前から、葉酸とビタミンB₁₂を投与する必要があります。

ペメトレキセド初回投与 の7日以上前		日前	日前	日前	7日前	6日前	5日前	4日前	3日前	2日前	前日
月／日 (曜日)		／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()
投与薬	葉 酸										
	ビタミンB ₁₂										
体温(℃)		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
体重(kg)		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 最高／最低		／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
食事の量											
		◎通常 ○やや少ない △少ない ×食べられない									
排 尿		回	回	回	回	回	回	回	回	回	回
排 便		回	回	回	回	回	回	回	回	回	回

メモ
医師に伝えたいこと
聞きたいこと
気になること

1 サイクル

治療開始 からの日数		1 週目								
		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
月／日 (曜日)		／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()
投 与 薬	葉 酸									
	ビタミンB ₁₂									
	ペメトレキセド									
体温(℃)		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
体重(kg)		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 最高／最低		／	／	／	／	／	／	／	／	／
食事の量										
		◎通常							○やや少ない	
排 尿		回	回	回	回	回	回	回	回	回
排 便		回	回	回	回	回	回	回	回	回
下 痢										
便 秘										
吐き気										
おう吐		回	回	回	回	回	回	回	回	回
疲労感										
咳が出る										
鼻血・歯ぐきなどからの出血										
発 疹										

×モ

医師に伝えたいこと
聞きたいこと
気になること

2サイクル

治療開始 からの日数		1週目								
		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
月／日 (曜日)		／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()
投与薬	葉酸									
	ビタミンB ₁₂									
	ペメトレキセド									
体温(℃)		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
体重(kg)		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 最高／最低		／	／	／	／	／	／	／	／	／
食事の量										
		◎通常							○やや少ない	
排 尿		回	回	回	回	回	回	回	回	回
排 便		回	回	回	回	回	回	回	回	回
下 痢										
便 秘										
吐き気										
おう吐		回	回	回	回	回	回	回	回	回
疲労感										
咳が出る										
鼻血・歯ぐきなどからの出血										
発 疹										

×モ

医師に伝えたいこと
聞きたいこと
気になること

2週目					3週目							
10日目	11日目	12日目	13日目	14日目	15日目	16日目	17日目	18日目	19日目	20日目	21日目	
／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	
℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	
kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	
／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	
△少ない					×食べられない							
回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	
回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	
回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	

3サイクル

治療開始 からの日数		1週目								
		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
月／日 (曜日)		／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()
投与薬	葉酸									
	ビタミンB ₁₂									
	ペメトレキセド									
体温(℃)		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
体重(kg)		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 最高／最低		／	／	／	／	／	／	／	／	／
食事の量										
		◎通常							○やや少ない	
排 尿		回	回	回	回	回	回	回	回	回
排 便		回	回	回	回	回	回	回	回	回
下 痢										
便 秘										
吐き気										
おう吐		回	回	回	回	回	回	回	回	回
疲労感										
咳が出る										
鼻血・歯ぐきなどからの出血										
発 疹										

×モ

医師に伝えたいこと
聞きたいこと
気になること

4サイクル

治療開始 からの日数		1週目								
		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
月／日 (曜日)		／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()
投与薬	葉酸									
	ビタミンB ₁₂									
	ペメトレキセド									
体温(℃)		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
体重(kg)		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 最高／最低		／	／	／	／	／	／	／	／	／
食事の量										
		◎通常							○やや少ない	
排 尿		回	回	回	回	回	回	回	回	回
排 便		回	回	回	回	回	回	回	回	回
下 痢										
便 秘										
吐き気										
おう吐		回	回	回	回	回	回	回	回	回
疲労感										
咳が出る										
鼻血・歯ぐきなどからの出血										
発 疹										

×モ

医師に伝えたいこと
聞きたいこと
気になること

2週目					3週目							
10日目	11日目	12日目	13日目	14日目	15日目	16日目	17日目	18日目	19日目	20日目	21日目	
／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	
℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	
kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	
／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	
△少ない					×食べられない							
回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	
回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	
回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	

5サイクル

治療開始 からの日数		1週目								
		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
月／日 (曜日)		／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()
投 与 薬	葉 酸									
	ビタミンB ₁₂									
	ペメトレキセド									
体温(℃)		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
体重(kg)		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 最高／最低		／	／	／	／	／	／	／	／	／
食事の量										
		◎通常							○やや少ない	
排 尿		回	回	回	回	回	回	回	回	回
排 便		回	回	回	回	回	回	回	回	回
下 痢										
便 秘										
吐き気										
おう吐		回	回	回	回	回	回	回	回	回
疲労感										
咳が出る										
鼻血・歯ぐきなどからの出血										
発 疹										

×モ

医師に伝えたいこと
聞きたいこと
気になること

2週目					3週目							
10日目	11日目	12日目	13日目	14日目	15日目	16日目	17日目	18日目	19日目	20日目	21日目	
／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	
℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	
kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	
／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	
△少ない					×食べられない							
回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	
回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	
回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	

6サイクル

治療開始 からの日数		1週目								
		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
月／日 (曜日)		／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()
投与薬	葉酸									
	ビタミンB ₁₂									
	ペメトレキセド									
体温(℃)		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
体重(kg)		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 最高／最低		／	／	／	／	／	／	／	／	／
食事の量										
		◎通常							○やや少ない	
排 尿		回	回	回	回	回	回	回	回	回
排 便		回	回	回	回	回	回	回	回	回
下 痢										
便 秘										
吐き気										
おう吐		回	回	回	回	回	回	回	回	回
疲労感										
咳が出る										
鼻血・歯ぐきなどからの出血										
発 疹										

×モ

医師に伝えたいこと
聞きたいこと
気になること

2週目					3週目							
10日目	11日目	12日目	13日目	14日目	15日目	16日目	17日目	18日目	19日目	20日目	21日目	
／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	
℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	
kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	
／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	
△少ない					×食べられない							
回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	
回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	
回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	

医療機関名